



2026 年 7 月 15 日
株式会社みずほ銀行

Starlight Engine 株式会社への出資について ～フュージョンエネルギーの社会実装に向けて～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、2030年代のフュージョンエネルギー発電実証を目指す「FAST（Fusion by Advanced Superconducting Tokamak）」プロジェクトを推進するStarlight Engine株式会社（代表取締役社長 CEO：菊地 清貴、以下「Starlight Engine」）への出資（以下「本出資」）を目的に、投資契約を締結しました。なお、本出資は、みずほ銀行の「トランジション出資枠」（※1）によるものです。

近年、GXの推進や経済安全保障の強化、AI等の技術革新に伴う電力需要の増加が見込まれる中、フュージョンエネルギーは、脱炭素化と電力の安定供給を両立する次世代エネルギーとして世界的に期待が高まっています。

Starlight Engineは、フュージョンエネルギー発電実証プロジェクト「FAST」の事業主体として、親会社である京都フュージョニアリング株式会社（代表取締役会長CEO：小西 哲之）で培われた技術・知見を基盤に、技術開発、事業開発、資金調達、立地選定、サプライチェーン構築等を推進し、2030年代の発電実証を目指しています。

みずほ銀行は、本出資を通じてStarlight Engineの成長を支援するとともに、フュージョンエネルギー領域に関する産業・技術知見を蓄積し、お客さまや産学官との連携・共創を通じて、将来的なサプライチェーン形成や社会実装に向けた金融ソリューションの提供にも取り組んでいきます。

〈みずほ〉は、産業金融のパートナーとして、日本発の革新的技術の社会実装を金融面から支援し、産学官・金融の連携を通じてフュージョンエネルギー産業の発展を後押ししていきます。本出資を通じ、日本のエネルギー自給率の向上、安定的な電力供給、脱炭素化および産業競争力の強化を目指すことで、持続可能な社会の実現とデジタル社会を支える次世代エネルギー基盤の構築に貢献していきます。

※1 トランジション出資枠：

お客さまが実施するシード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）等の開発段階や創業段階にあるトランジション領域に関するプロジェクト等に対し、戦略的かつ機動的に投資するための株式出資枠。みずほ銀行産業調査部やみずほ総合研究所（※2）を中心に、長年培ってきた〈みずほ〉の トランジション領域に関する産業知見や環境技術知見を最大限に活用。

※2 みずほ総合研究所はみずほ銀行内の組織の名称です。

【Starlight Engine 株式会社の概要】

会 社 名	Starlight Engine 株式会社
本社所在地	東京都大田区平和島六丁目 1 番 1 号
設 立	2025 年 4 月 3 日
代 表 者	菊地 清貴
事 業 内 容	フュージョンエネルギープラントの研究・開発・販売等

以 上